

# ぎがし 月報

加古川市議会事務局

令和6年(2024年)4月1日 No.618

## 令和6年第1回市議会（定例会）が開催されました

第1回市議会（定例会）は、2月22日から3月25日までの33日間の日程で行われました。会期中、令和6年度一般会計予算など市長提出議案41件と、議員提出議案の意見書案2件について審議され、いずれも原案のとおり承認、可決されました。代表質問は、3月4日に各会派の代表である4人の議員によって行われ、一般質問は、3月5日及び6日に14人の議員によって行われました。

### 令和6年度一般会計予算を可決

市長から提出された令和6年度一般会計予算案については、本会議において所管の常任委員会に付託後、各委員会の審査を経て、3月25日に本会議で質疑及び討論の結果、賛成多数で可決されました。その主な内容は次のとおりです。

#### ○総務費

総務管理費における加古川駅周辺賑わい創出事業の加古川駅周辺回遊性等創出業務委託料580万円の内容を質問したのに対し、企画部から「加古川駅周辺の回遊性等を創出するための社会実験として、駅南広場にストリートファニチャーを一定期間設置し、利用者の滞留行動の変化に関する検証やストリートファニチャーのニーズに関するアンケート調査の実施によって効果を分析するものである」との答弁がありました。

防災及び災害関係事業の備品購入費1,240万8,000円の内容を質問したのに対し、防災部から「令和5年9月に兵庫大学と締結した福祉避難所の指定に関する協定に基づき、災害時には福祉避難所として兵庫大学の施設を使用することから、大学構内に備蓄倉庫を設置するものである。また、能登半島地震を受け、市内72か所の避難所にガソリン及びカセットボンベで発電できる非常用発電機を配備するものである」との答弁がありました。

#### ○民生費

社会福祉費における結婚支援事業の婚活支援補助金47万5,000円の積算根拠を質問したのに対し、こども部から「39歳以下の市民を対象として、ひょうご出会いサポートセンターの年間登録料である5,000円全額の補助を行う。全ての登録者数と、補助対象となる市内の人数等を考慮し、95人分を計上している」との答弁がありました。

老人福祉費における生きがい対策事業の備品購入費1,369万8,000円について、購入予定の福祉バスの仕様と利用対象者を質問したのに対し、福祉部から「定員23人の小型バスを購入する予定である。バスの後部にあるリフトで車いすのまま乗車が可能であり、車内に車いす2台を固定できる仕様となっている。これまでは利用対象者を老人クラブなどの高齢者団体としていたが、おおむね65歳以上で構成された11人以上の団体であれば利用可能とすることを考えている」との答弁がありました。

## ○衛生費

保健衛生費におけるあなたのエコ暮らし応援事業の省エネ設備導入補助金1億円の積算根拠を質問したのに対し、環境部から「家庭における断熱効果を高めるための改修や省エネ設備の導入に対して補助を行うものであり、断熱窓への改修について、1件当たり5万円を35件分、省エネ型給湯器への買換えについて、1基当たり15万円を655件分計上している」との答弁がありました。

## ○農林水産業費

林業費における林業振興事業の森林内遊歩道整備工事費1,062万6,000円の内容とこれまで実施してきた見土呂フルーツパーク再整備事業とのすみ分けを質問したのに対し、産業経済部から「見土呂フルーツパーク内の再整備事業の対象区域外である北部の森林を間伐し、環境の整備を図るとともに、約411メートルの遊歩道を整備するものである。整備対象の森林には保安林が含まれており、保安林の伐採等を行う場合は様々な手続が必要であり、慎重に対応するため、見土呂フルーツパークの再整備事業とは切り分けて工事を行うものである」との答弁がありました。

## ○商工費

商工費における観光まちづくり推進事業の観光まちづくり戦略策定業務委託料850万円について、内容と策定業務における市の役割を質問したのに対し、産業経済部から「第3次観光まちづくり戦略の策定に当たり、コンサルタント事業者に戦略案作成の支援業務を委託することにより、その事業者が持つノウハウなどから、第2次観光まちづくり戦略で定めた指標の検証等を行うものである。市においては、検証内容を分析し、次の観光戦略に生かしていきたい」との答弁がありました。

## ○土木費

道路橋梁費における道路補修事業の別府駅前広場詳細設計業務委託料2,776万8,000円の内容を質問したのに対し、建設部から「バスの乗降客の利便性の向上を目的とし、バス停の待合スペースとして、シェルターやベンチなどを設置するため、現地測量、路線測量及び交通量調査を委託するものである」との答弁がありました。

## ○教育費

小学校費における小中一貫校建設事業の小中一貫校建設工事費4億1,484万7,000円について、工事内容を質問したのに対し、教育総務部から「令和6年4月の両荘みらい学園の開校に合わせて、両荘公民館が学園の敷地内に移転するため、現在の公民館の建物を解体し、跡地をスクールバスの転回場として整備するものである」との答弁がありました。

社会教育費における公民館建設事業の野口公民館改修工事費1億4,644万8,000円について、改修内容と改修期間中における施設の運営状況を質問したのに対し、教育指導部から「外装・内装の改修に加え、バリアフリーに対応したエレベーター棟の設置や、照明設備のLED化、太陽光発電設備の新設など加古川市公共施設等脱炭素化方針に沿った改修を行うものである。令和6年10月頃から約1年間の工事期間中は休館することとし、その間、公民館事務所は市役所南館に移転する予定である。また、登録団体の活動については、かこてらす等近隣の施設で、高齢者大学等の公民館主催事業については、市民会館などで継続できるように調整を行っているところである」との答弁がありました。

議決件数

区分	専決	予算	条例	単行	意見書	合計
市長提出 議案	1	21	18	1		41
議員提出 議案					2	2

議決結果及び会派等の賛否一覧

◆市長提出議案

※○は賛成、×は反対。

番号	件名	結果	賛否				
			創	公	市	維	無
議案第1号	専決処分の承認を求めると（令和5年度加古川市一般会計補正予算（第6回））	承認	○	○	○	○	○
議案第2号	令和5年度加古川市一般会計補正予算（第7回）	可決	○	○	○	○	○ ×2
議案第3号	令和5年度加古川市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3回）	可決	○	○	○	○	○
議案第4号	令和5年度加古川市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3回）	可決	○	○	○	○	○
議案第5号	令和5年度加古川市介護保険事業特別会計補正予算（第3回）	可決	○	○	○	○	○
議案第6号	令和5年度加古川市公園墓地造成事業特別会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○
議案第7号	令和5年度加古川市病院事業債管理事業特別会計補正予算（第1回）	可決	○	○	○	○	○
議案第8号	令和5年度加古川市財産区特別会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○
議案第9号	令和5年度加古川市水道事業会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○
議案第10号	令和5年度加古川市下水道事業会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○
議案第11号	令和6年度加古川市一般会計予算	可決	○	○	○	○	×
議案第12号	令和6年度加古川市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○ ×2
議案第13号	令和6年度加古川市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○ ×2
議案第14号	令和6年度加古川市介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○ ×2
議案第15号	令和6年度加古川市公園墓地造成事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○
議案第16号	令和6年度加古川市夜間休日応急診療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○
議案第17号	令和6年度加古川市歯科保健センター事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○
議案第18号	令和6年度加古川市病院事業債管理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○ ×2

番 号	件 名	結果	創	公	市	維	無
議案第19号	令和6年度加古川市学校給食費管理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○ ×2
議案第20号	令和6年度加古川市財産区特別会計予算	可決	○	○	○	○	○
議案第21号	令和6年度加古川市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○ ×2
議案第22号	令和6年度加古川市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○ ×2
議案第23号	加古川市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○ ×2
議案第24号	加古川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○ ×2
議案第25号	加古川市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	×	○ ×2
議案第26号	加古川市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	×	○ ×2
議案第27号	加古川市長等の損害賠償責任の上限を定める条例及び加古川市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○
議案第28号	加古川市手数料条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○ ×2
議案第29号	加古川市指定地域密着型サービス事業者等の指定申請等手数料条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○ ×2
議案第30号	加古川市建築確認申請等手数料条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○
議案第31号	加古川市消防手数料条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○ ×2
議案第32号	加古川市立総合体育館の設置及び管理に関する条例及び加古川市都市公園条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○ ×2
議案第33号	加古川市文化財の保護に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○
議案第34号	加古川市立こども療育センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○
議案第35号	加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○ ×2
議案第36号	加古川市国民健康保険条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○ ×2
議案第37号	加古川市介護保険条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○ ×2
議案第38号	加古川市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例及び加古川市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○
議案第39号	加古川市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○
議案第40号	加古川市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を定めること	可決	○	○	○	○	○
議案第41号	市有財産処分のこと	可決	○	○	○	○	○

◆意見書案

※○は賛成、×は反対。

番 号	件 名	結 果	創	公	市	維	無
意見書案 第1号	多様な人材の地方議会への参画促進を求める意見書	可決	○	○	○	×	○ ×2
意見書案 第2号	生涯を通じた国民皆歯科健診の実現を求める意見書	可決	○	○	○	○	○

本会議で可決された意見書は、内閣総理大臣、衆議院及び参議院議長、関係大臣等に送付されました。

◆会派略称及び所属議員

令和6年3月25日現在

◆創生加古川(創)	◆公明党議員団(公)	◆かこがわ 市民クラブ(市)	◆加古川維新の会(維)	◆無会派(無)
岩本泰典・清水玲子・山本賢吾・藤原繁樹 東田寿啓・藤原みつえ・大野恭平 西村雅文・松本裕之・織田正樹・中村亮太 玉川英樹・木谷万里・森田俊和	山崎兼次・岡田妙子 桃井祥子・白石信一 相良大悟 小林直樹(議長)	井上恭子・谷 真康 渡辺征爾・稲次 誠 山本一郎	橋本 南・落合 誠 中山俊明	※会派に属さない議員 立花俊治・橋本和彦 柘植厚人

※原則として議長は議案の採決に加わらない。

代 表 質 問

市長の施政方針を受けて、各会派の代表である4人の議員が質問し、市長及び教育長から答弁がありました。質問議員及び質問項目は次のとおりです。

○玉川 英樹(創生加古川)

1. 本市の防災体制について
2. 結婚・出産・子育ての夢がかなえられる施策について
3. 本市の教育の充実について
4. 加古川まつり花火大会について
5. JR加古川駅周辺のまちづくり構想について
6. 各事業の採択と実施の考え方について

○渡辺 征爾(かこがわ市民クラブ)

1. ウェルビーイング指標を含めた市民意識調査と活用について
2. 避難所となる小中学校体育館への空調設備設置について
3. 主要事業である駅周辺と幹線道路整備について
4. 播磨圏域連携中枢都市圏の取組みと今後について

○相良 大悟(公明党議員団)

1. 加古川市業務継続計画の現状と課題について
2. 誇りを持てるまち加古川について
3. 義務教育の充実について
4. ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みについて
5. シティプロモーションの取り組みについて
6. ウェルビーイング向上への取り組みについて

○落合 誠(加古川維新の会)

1. 義務教育の充実について



第1回市議会(定例会)の様子

## 一般質問

一般質問では、14人の議員が質問に立ち、各部長から答弁がありました。質問議員及び質問項目は次のとおりです。

○森田 俊和（創生加古川）

【一括方式】

1. 「不登校児童生徒支援員」制度について

○稲次 誠（かこがわ市民クラブ）

【一括方式】

1. 聴覚障がい者も識別できる消防車両への赤色灯の導入について
2. 災害廃棄物処理計画について

○岩本 泰典（創生加古川）

【一括方式】

1. JR加古川駅周辺のまちづくりについて
2. アイデアを募集する方法とその実現化について

○山本 一郎（かこがわ市民クラブ）

【一問一答方式】

1. 中学校部活動におけるチームスポーツについて
2. 回遊性の高いウォーカブルなまちづくりについて

○清水 玲子（創生加古川）

【一括方式】

1. 高額な水道料金の対応について
2. 不登校及び不登校傾向にある児童生徒への支援強化について

○柘植 厚人（無会派）

【一括方式】

1. 加古川市版子ども夢パークの設置について
2. 認可外保育施設に通う3歳児から5歳児に対する保育料補助制度の創設について

○中山 俊明（加古川維新の会）

【一括方式】

1. 国民健康保険の高額療養費の還付（償還払い）について
2. 児童クラブについて

○井上 恭子（かこがわ市民クラブ）

【一括方式】

1. ドローンの活用について

○橋本 南（加古川維新の会）

【一括方式】

1. 牛肉のまち加古川について

○橋本 和彦（無会派）

【一括方式】

1. 播磨臨海地域道路について
2. 南海トラフ・山崎断層の活動による震災の備えについて

○立花 俊治（無会派）

【一括方式】

1. 少子化対策について
2. 幼稚園統廃合と3歳児保育について
3. 幼稚園の給食の実施について
4. 児童クラブの民間委託について

○山崎 兼次（公明党議員団）

【一括方式】

1. 子宮頸がんの予防について
2. 乳幼児健康診査について

○木谷 万里（創生加古川）

【一問一答方式】

1. 健康課題の明確化と対策について
2. 災害対応力を強化する女性の視点について
3. 各種会議の在り方について

○藤原みつえ（創生加古川）

【一括方式】

1. 地方自治法改正案について
2. コロナワクチン接種履歴及び予診票について

## 視察報告

市議会の各常任委員会及び議会運営委員会では、他都市の先進的な取組を本市の市政向上に役立てることを目的に視察しています。

今月号では、議会運営委員会の視察報告書を要約のうえ掲載します。

議会運営委員会（日時：令和6年2月6日～7日） **報告者** 委員長 相良 大悟

### ①岐阜県可児市議会「議会改革の取組について」

#### 事業の概要

#### （1）議会報告会（オンライン・ハイブリッド）について

議会基本条例で議会報告会を毎年開催すると規定しており、常任委員会ごとにテーマを設定し、市民参加者とグループ討議を行い、意見交換会を行っている。コロナ禍での開催方法として、令和4年5月に完全オンラインで開催、令和4年11月に参加者の希望に応じて、対面とオンラインを併用したハイブリッドの議会報告会を開催した。

#### （2）高校生議会について

若い世代との交流や議会に関心を持ってもらう活動として、平成26年から高校生議会が行われている。若い世代と交流し、意見交換することで、多様な声を拾い上げ、地域課題に対する新たな認識や取組へのきっかけとなっている。ほかに、ママさん議会や中学生議会なども開催している。

#### （3）議会BCPについて

議会BCP策定プロジェクトチームにより、平成29年に議会BCPを策定し、議会BCPに基づいた議会防災訓練を実施している。議員は災害時には携帯やタブレット端末などを活用して、災害写真などの情報を議会事務局に報告することとなっている。新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、令和2年7月に改定を行った。



#### （4）委員会代表質問について

委員会機能のさらなる充実のために委員会代表質問を実施している。「会期前委員会」において協議を行い、全会一致により委員会代表質問を行うことができるとしている。執行部への問いかけの影響力は大きく、迅速に対応されることから、今後の提案につながっていると考えられている。

#### 視察を終えての所感

完全オンライン方式やハイブリッド方式で議会報告会を開催することで、子育て世代や高齢者等の多くの参加が可能となっている。各議会における議会報告会が形骸化している傾向にある中で、テーマを設定した意見交換会の開催は、本市においても有効であると感じた。また、高校生議会やママさん議会など、市民と議会の垣根を低くした取組は議員の見える化が図られていると感じた。議会としてSNS等を活用し、市民と議会の距離が近い取組が進んでいることに感心した。

議会BCPの策定については、本市議会でも検討課題になっていることから、早急に進めていく必要があると痛感した。また、委員会代表質問において、一議員の質問よりも重みがあるという点では有効であると考えるが、そこに至るまでの委員会の自由討議等、先に着手すべきことがあるとも感じた。

## ②愛知県岩倉市議会「議会改革の取組について」

### 事業の概要

#### (1) YouTubeを活用した動画配信について

YouTubeを活用した本会議・常任委員会の録画配信を行っており、今後はライブ配信も行う予定としている。全戸配布の広報紙などで周知を行っているが、市民の認知度はまだ低く、情報発信の工夫が必要であると考えられている。

#### (2) 議会サポーター制度について

平成30年度に議会サポーター制度を導入し、無作為抽出及び公募により募集した議会サポーターから、定例会翌月に開催される意見交換会で、議会活動に対して様々な意見をもらっている。また、「サポーターの声」という制度により、議会に対する率直な意見や感想を随時受け付けている。議会サポーター制度の導入により、議員の緊張感が高まるとともに、傍聴者数の増加にもつながっている。

#### (3) ふれあいトークについて

議会基本条例に、議会報告会と意見交換会を合わせた「ふれあいトーク」を年2回、開催すると規定している。各種団体等、人が集まっている場所へ議員が行くというスタイルで行われている。

### 視察を終えての所感

岩倉市議会では、議会に対する市民の関心を高め、開かれた議会を推進するため、様々な取組が展開されている。本会議・委員会をYouTubeで配信することによって、平日昼間に傍聴ができない人にも気軽に見てもらえるようになり、議会活動を身近に感じてもらう取組となっている。また、市議会を応援・支援する観点から意見や提言を求める議会サポーター制度においては、傍聴・録画配信・議会だよりなどを通して、市民から忌憚のない声をいただいていると感じた。議員の親近感や働く議会のアピールに対して工夫がされており、本市議会においても市民に寄り添う取組を検討すべきと痛感した。



## 議会のうごき

### 4月の常任委員会開催予定

日(曜日)	日 程
4月17日(水)	総務教育常任委員会
18日(木)	福祉環境常任委員会
19日(金)	建設経済常任委員会
※開会時刻はいずれの日も午前9時30分の予定です。	

<発行> 加古川市議会事務局 議事総務課  
 〒675-8501 加古川市加古川町北在家2000  
 電話：079-427-9304・FAX：079-424-9043  
 E-mail:gikai\_soumu@city.kakogawa.lg.jp  
 ※ご意見などがございましたら、議会事務局までお寄せください。